

農林水産省九州農政局 業務説明会

九州農政局 総務課



農林水産省は何のために存在しているか

農林水産省ビジョン・ステートメント

わたしたち農林水産省は、
いのち
生命を支える「食」と安心して暮らせる「環境」を
未来の子どもたちに継承していくことを使命として、

常に国民の期待を正面から受けとめ
時代の変化を見通して政策を提案し、
その実現に向けて全力で行動します。

農林水産行政の流れ

政策の企画・立案（主に本省）

政策の実行（主に地方農政局、 北海道農政事務所）

- ・課題の設定
- ・基本的な方針の作成

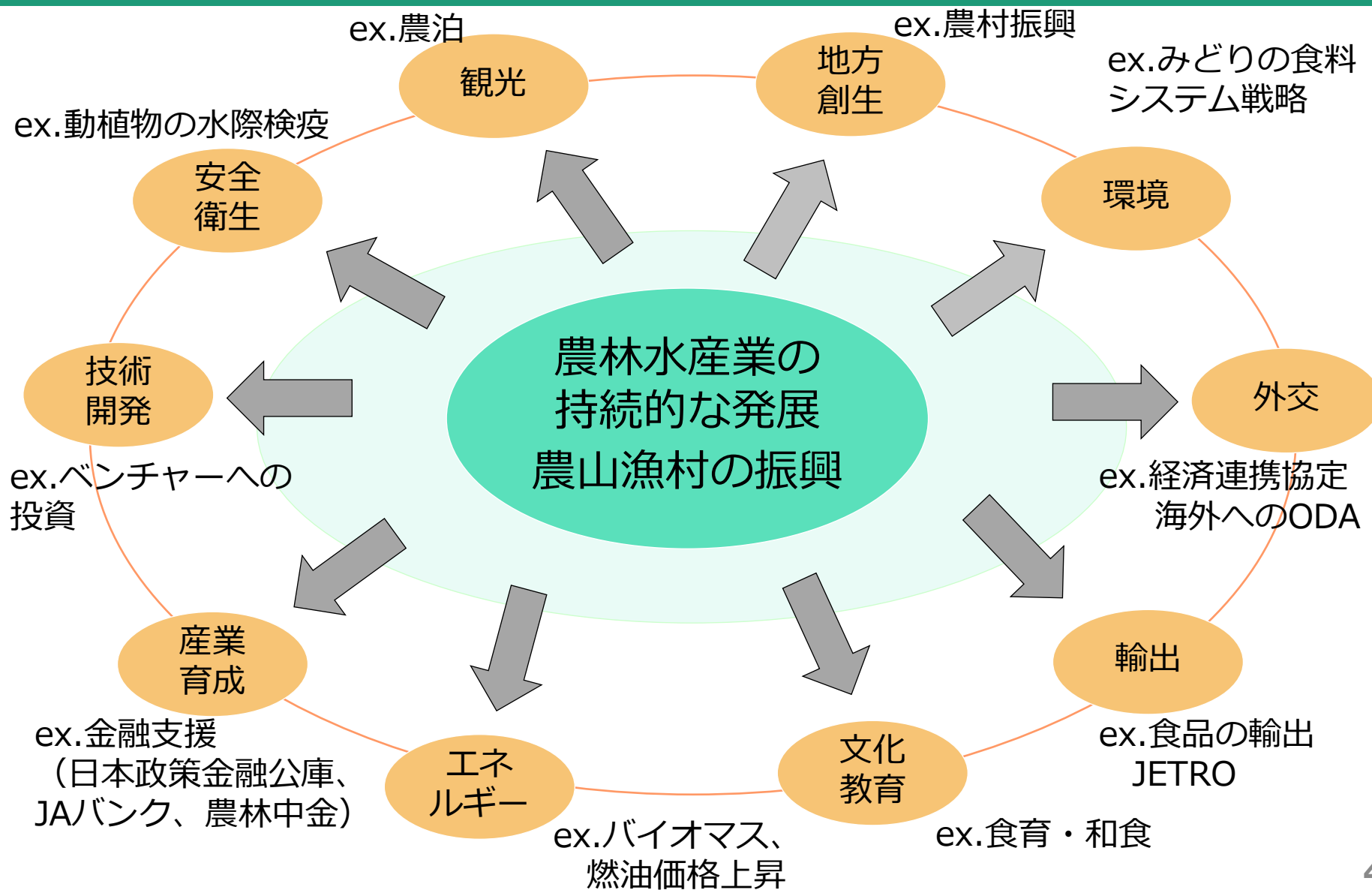
- ・政策手法の検討
（法令、事業等）

- ・政府内、外部との調整
- ・法令作成、予算の確保

- ・政策の現場への周知
- ・法令、事業等の執行
（検査、交付等）

- ・政策情報の収集
- ・現場の問題点の把握

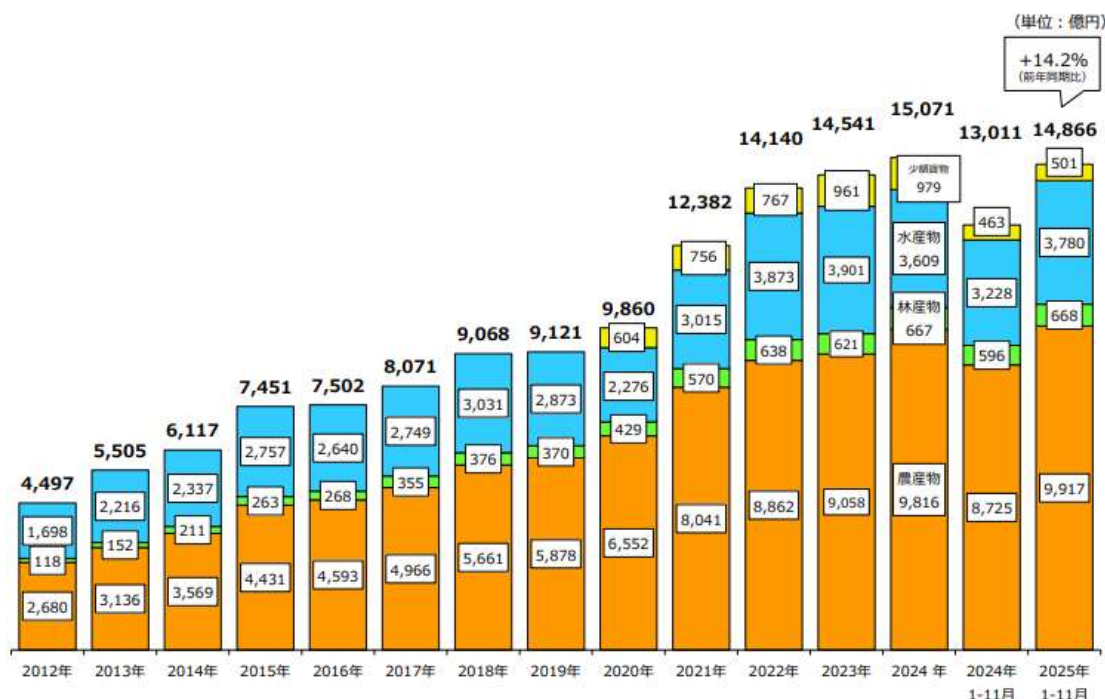
1 次産業を核とした多様なフィールドと豊富なツール



農林水産業の持続的な発展：輸出促進

近年急速に増加。2021年 1 兆円目標を突破！
2030年輸出額 5 兆円の目標達成を目指す。

○農林水産物・食品の輸出額



○諸外国の農産物・食品の輸出割合

(億ドル)

国名	生産額 (農産物・ 食品製造 業)	輸出額 (農産物・ 加工食品)	輸出割合
アメリカ	12,335	1,442	12%
フランス	2,591	730	28%
イタリア	2,302	485	21%
イギリス	1,548	286	18%
オランダ	1,066	1,018	95%
日本	4,725	84	2%

注：日本以外の諸外国の林業・漁業生産額については、比較可能な統計がないことから、生産額、輸出額とも含めていない。日本のみ農林水産物として算出。

資料：FAOSTAT, 三井物産戦略研究所, Global Trade Atlas, 生産農業所得統計, 工業統計, 林業産出額, 漁業産出額, 農業・食料関連産業の経済計算

農林水産業の持続的な発展：テクノロジー活用

「農業」 × 「先端技術」 = 「スマート農業」

「スマート農業」とは、「ロボット、AI、IoTなど先端技術を活用する農業」のこと

スマート農業の効果

- ① **作業の自動化**
ロボットトラクター、スマホで操作する水田の水管理システムなどの活用により、作業を自動化し人手不足の解消が可能に
- ② **情報共有の簡易化**
位置情報と連動した経営管理アプリの活用により、作業の記録をデジタル化・自動化し、熟練者でなくても生産活動の主体になることが可能に
- ③ **データの活用**
ドローン・衛星によるセンシングデータや気象データのAI解析により、農作物の生育や病虫害を予測し、高度な農業経営が可能に



データ連携基盤

農業データ連携基盤

スマート農業に必要な
データを連携・共有・提供。



連携



スマートフードチェーンプラットフォーム

生産から加工・流通・販売・消費
に至るデータを連携。



農林水産業の持続的な発展：みどりの食料システム戦略

①食料システムの関係者の理解の増進



➢ 広報活動の充実

②技術の研究開発の促進



➢ 産学官連携の強化、研究者の養成等

③技術の普及の促進



➢ 栽培マニュアル等の情報提供や普及事業の展開

⑦環境負荷の低減に資する農林水産物等の消費の促進



➢ 消費者への適切な情報提供、食育の推進

⑥環境負荷の低減に資する農林水産物等の流通の合理化の促進



➢ ICT化、モーダルシフト、集出荷拠点の集約化等

⑧評価手法等の開発



➢ 脱炭素化等の定量化・評価手法（見える化）の検討

④環境負荷の低減に資する生産活動の促進



➢ 地力増進、化学肥料・化学農薬の使用低減、温室効果ガスの削減・吸収 など

⑤環境負荷の低減に資する原材料の利用の促進



➢ 原材料の生産等の状況に関する情報収集・提供

農地・農業水利施設の整備：国営土地改良事業

	事業内容	事業を実施する上での課題
①かんがい排水事業	○ 農業水利施設（ダム、堰、用排水路、用排水機場等）の整備・更新   	○ 基幹的水利施設の2割が耐用年数を超過 ○ 点検・補修による長寿命化の推進
②農地整備事業	○ 農地の大区画化・汎用化、畑地かんがい施設の整備   	○ 狭小・不整形の農地は作業効率が悪く、担い手農家も敬遠 ○ 大区画化・汎用化により生産コストの大幅削減と収量の増大
③農地防災事業	○ 集中豪雨・地震等の自然災害に対応するための排水機場の整備や老朽化したため池の改修等   	○ 集中豪雨の多発化 ○ 全国約21万箇所のため池のうち約1.4万箇所が警戒すべきため池（決壊による下流への影響が大きいもの）

公務員における職種の違い

□▼総合職と一般職の違い

総合職 … 政策の企画立案業務

一般職 … 政策の企画立案業務、行政の運営管理業務

□▼地方公務員と国家公務員の違い

地方公務員 … 地域密着型の仕事

国家公務員 … 日本のあり方を考えるスケールの大きい仕事

※農政局等の地方組織での仕事は、生産や消費の現場により近い国の機関のため
現場の声を聞きながら、地域の実情にあった各種施策を実行する仕事

□▼他省庁と農林水産省

どの省庁も、国民のため、国民に不可欠な行政サービスを提供

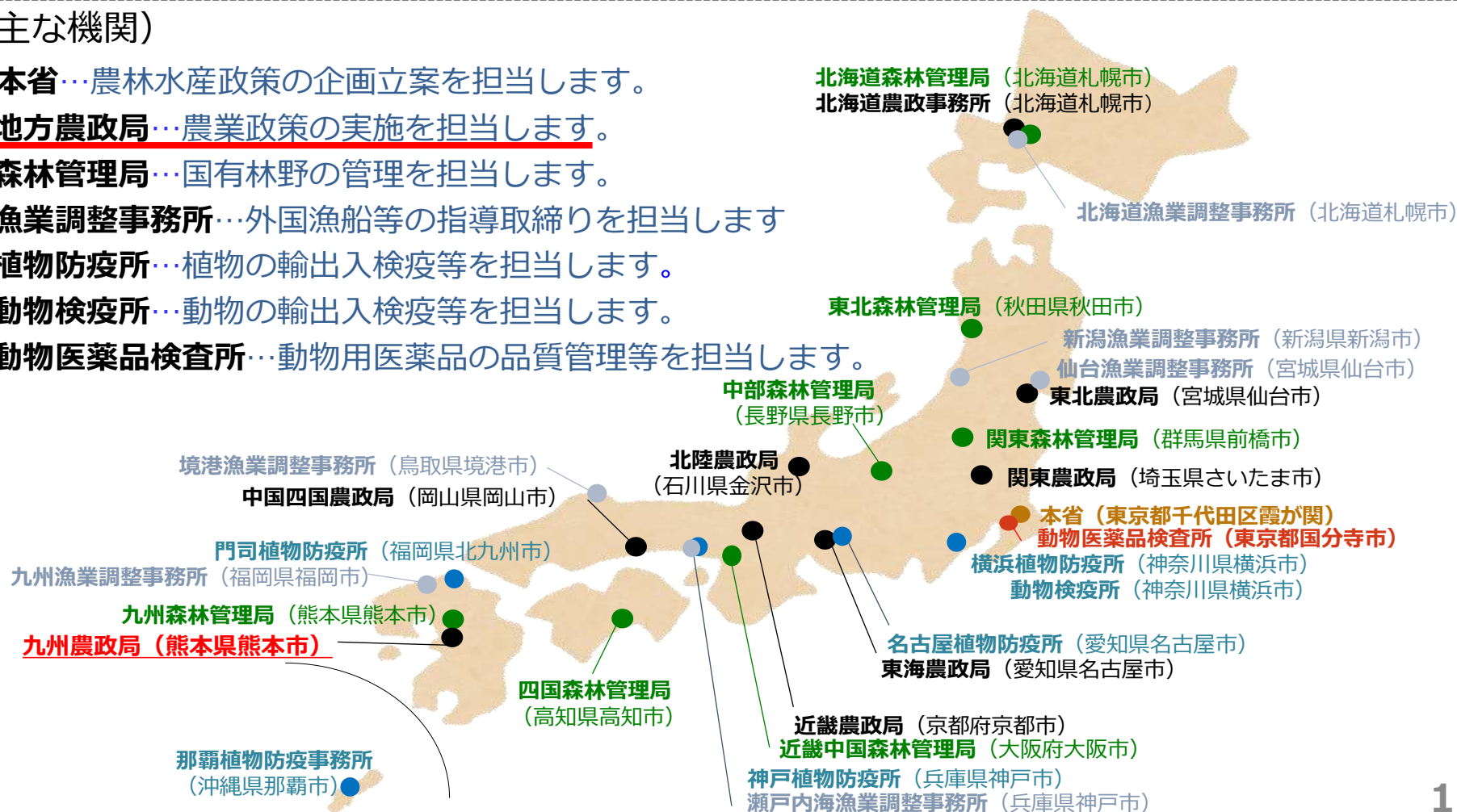
農林水産省は、豊かな「食」と「環境」を未来へつなぐ使命を果たす。

農林水産省の組織

農林水産省は、本省（約5千人）と全国の各地方ブロック機関（約1万4千人）で構成され、総定員数は約1.9万人です。

（主な機関）

- **本省**…農林水産政策の企画立案を担当します。
- **地方農政局**…農業政策の実施を担当します。
- **森林管理局**…国有林野の管理を担当します。
- **漁業調整事務所**…外国漁船等の指導取締りを担当します
- **植物防疫所**…植物の輸出入検疫等を担当します。
- **動物検疫所**…動物の輸出入検疫等を担当します。
- **動物医薬品検査所**…動物用医薬品の品質管理等を担当します。



農林水産省（本省）の組織

大臣官房

（基本的な政策・計画の企画立案、予算、法令、国会、広報、食料安全保障、環境政策）

品目共通課題【横軸】

（環境、防疫、国際交渉、新規就農、インフラ整備など）

消費・安全局

（食の安全確保、植物防疫、動物検疫、食育）

輸出・国際局

（輸出促進、国際交渉、知的財産、国際協力）

経営局

（新規就農、農地、農協、金融、税制、保険）

農村振興局

（インフラ整備、農村活性化、鳥獣対策）

農林水産技術会議事務局

（スマート農業、試験研究）

新事業・食品産業部

（食品流通・食品製造等）

農産局

（米・野菜等、経営安定対策、環境保全型農業）

畜産局

（畜産物、経営安定対策、競馬）

林野庁

（林業・木材産業、森林整備、国有林）

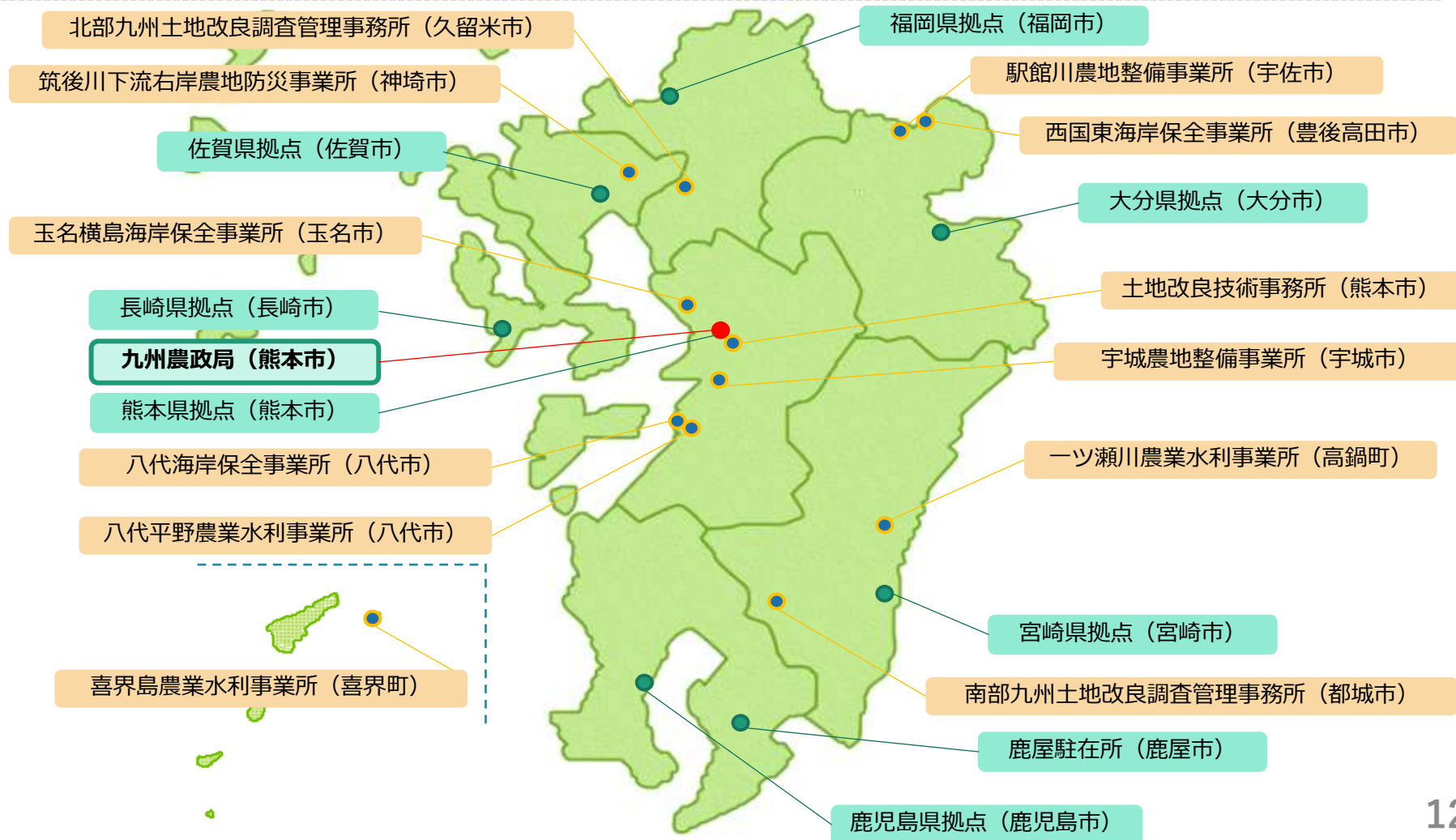
水産庁

（漁業・水産加工業、資源管理、漁港）

品目ごとの担当【縦軸】
（コメ、麦、肉、木材、魚など）

九州農政局の組織（R8.5現在）

九州農政局は、本局の約590人と各県拠点や事業所の約540人とで構成され、総定員数は約1130人です。
（ほかに再任用職員：約280人 非常勤職員：約170人）



九州農政局の組織

本局

企画調整室

総務部

消費・安全部

生産部

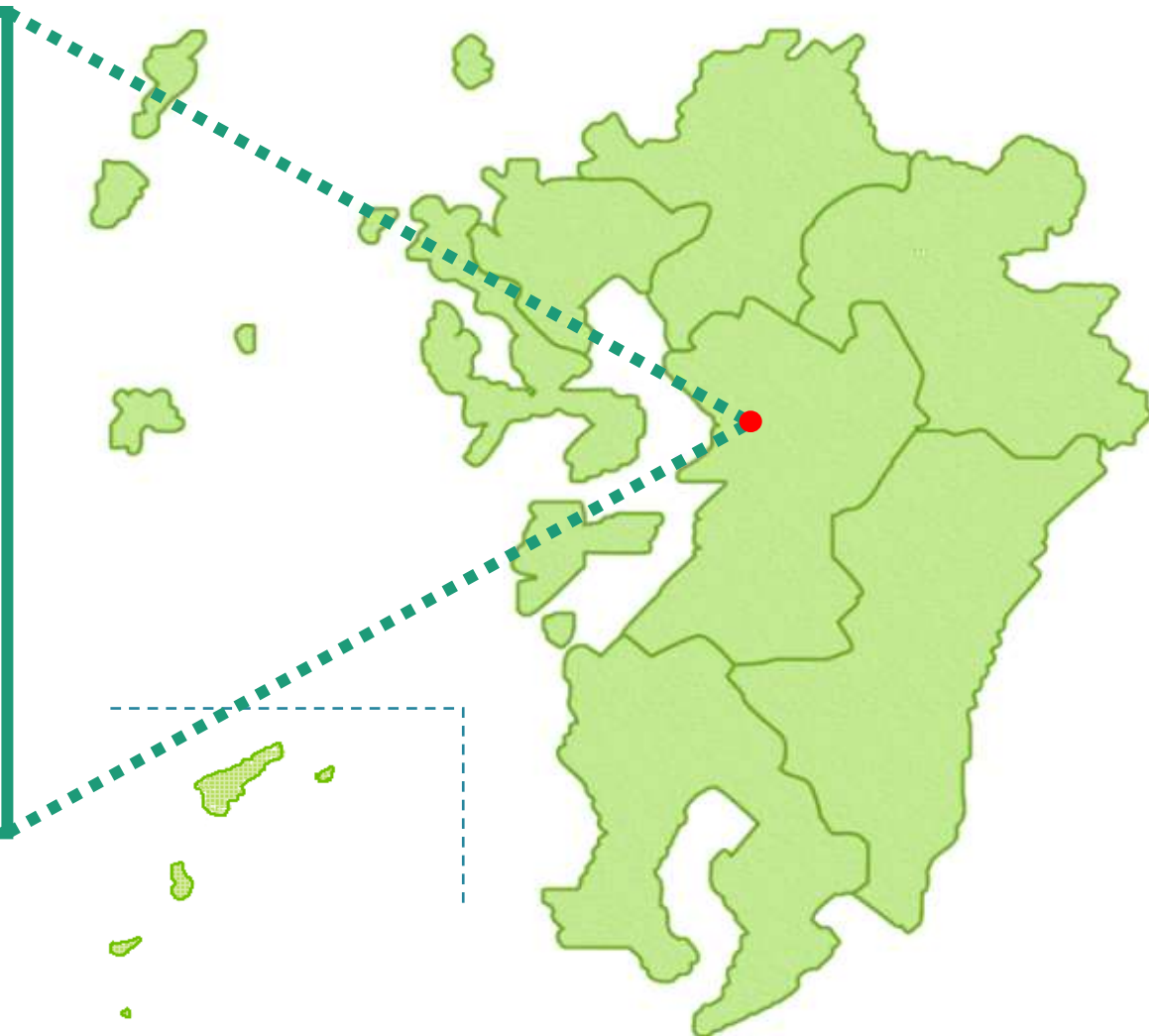
経営・事業支援部

農村振興部

統計部

各県拠点

国営事業所



九州農政局の組織

企画調整室

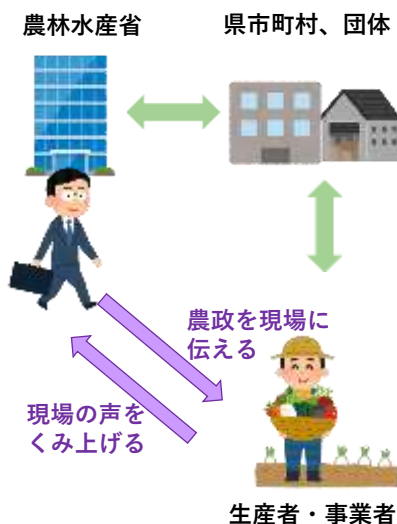
- 農業施策の地域への周知、生産者等の声を本省へ伝達
- 防災体制整備、被害状況の情報収集
- 農政全般に関する広報・報道活動、相談窓口
- デジタル技術を活用した業務効率化

農業施策の周知、
生産者等の声を本省へ伝達

防災体制整備、
被害状況の情報収集

デジタル技術を活用した
業務効率化

広報・報道活動



九州農政局 Instagram

農業現場の様子や
農水省の取組みを発信中！
コチラからご覧ください



農水省 YouTubeチャンネル



九州農政局の組織

総務部

- 職員の採用活動
- 人事管理
- 勤務時間管理
- 給与
- 研修
- 表彰
- 公文書管理
- 秘書
- 情報セキュリティ
- 福利厚生
- 契約事務
- 物品の購入・管理
- 国有財産の管理
- 宿舍
- 補助金

職員の採用活動



給与



福利厚生



国有財産の管理



九州農政局の組織

消費・安全部

- 食品の安全性向上
- 食育の推進
- 食品表示の適正化
- 農産物の安全確保
- 植物防疫対策
- 家畜疾病対策
- 肥飼料・動物用医薬品・ペットフードの安全確保

食育の推進

食品表示の適正化

植物防疫対策

家畜疾病対策



九州農政局の組織

生産部

- 米・麦・豆類・野菜・果実など主要農作物及び畜産物の生産・流通の改善等に関する指導
- 米の需給調整 ■ 環境保全型農業の推進 ■ みどりの食料システム戦略の推進
- 経営所得安定対策 ■ スマート農業 ■ 生産資材（肥料、燃料、飼料）高騰関連

米・麦・豆類・野菜・
果樹など農産物の生産・
流通の改善等に関する指導



畜産物の生産・流通の
改善等に関する指導



スマート農業の推進



みどりの食料システム
戦略（環境保全型農業）
の推進



九州農政局の組織

経営・事業支援部

- 担い手の育成・確保
- 新規就農の促進
- 女性・高齢者の活動促進
- 農林水産物・食品の輸出促進
- 地理的表示（G I）・知的財産の保護・活用
- 食品等の取引適正化
- 食文化の保護・継承
- 農地集積・集約化

新規就農の促進

農林水産物・食品
の輸出促進

食文化の保護・継承

農地集積・集約化



九州農政局の組織

農村振興部

- 農山漁村の活性化対策（農泊、農福連携、6次産業化、地産地消、情報通信）
- 中山間地域等の振興 ■ 棚田の振興 ■ 鳥獣害対策 ■ 土地改良区の指導・監督
- 農地転用許可 ■ 農業農村整備事業の調査・計画・実施

農業農村整備事業の 調査・計画・実施

農業用ダム



パイプラインの埋設



農山漁村の活性化対策

廃校を活用した農泊施設



農福連携の取組(作業風景)



中山間地域等の振興

農村RMOの取組



棚田遺産



鳥獣害対策

侵入防止柵の設置



ジビエ利活用拡大



九州農政局の組織

統計部

- 農林業センサス ■ 農林漁業経営体の経営実態
- 耕地面積 ■ 農林水産物の生産量
- 農林水産統計結果を活用したデータ分析 ■ 各種統計データの提供



九州農政局統計

農林業センサス

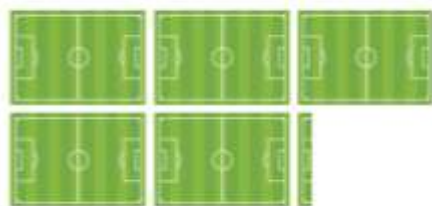
- 農業を担っている者（令和7年概数値）



※基幹的農業従事者とは、個人（世帯）で事業を営む経営体のうち、15歳以上で主に仕事として農業に従事している世帯員をいう。

- 経営耕地面積

（令和7年概数値）
農業経営体1経営体当たり
経営耕地面積：3.7ha

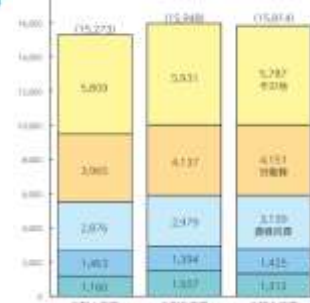


※サッカーのピッチサイズは、FIFA(国際サッカー連盟)が推奨する105m×68mで計算。

経営統計調査

- お米を作るのにかかる費用（令和6年度）

米生産費(個別経営体)
60kg当たり：15,814円



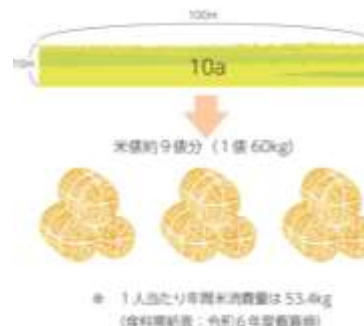
- 農業産出額（令和6年）

農業総産出額
10.8兆円



生産統計調査

- お米の生産状況（令和7年産概数値）



AIを活用した筆ポリゴンの更新作業



統計データの分析

スマート農業の推進



農林水産物・食品の輸出促進（輸出産地の拡大）

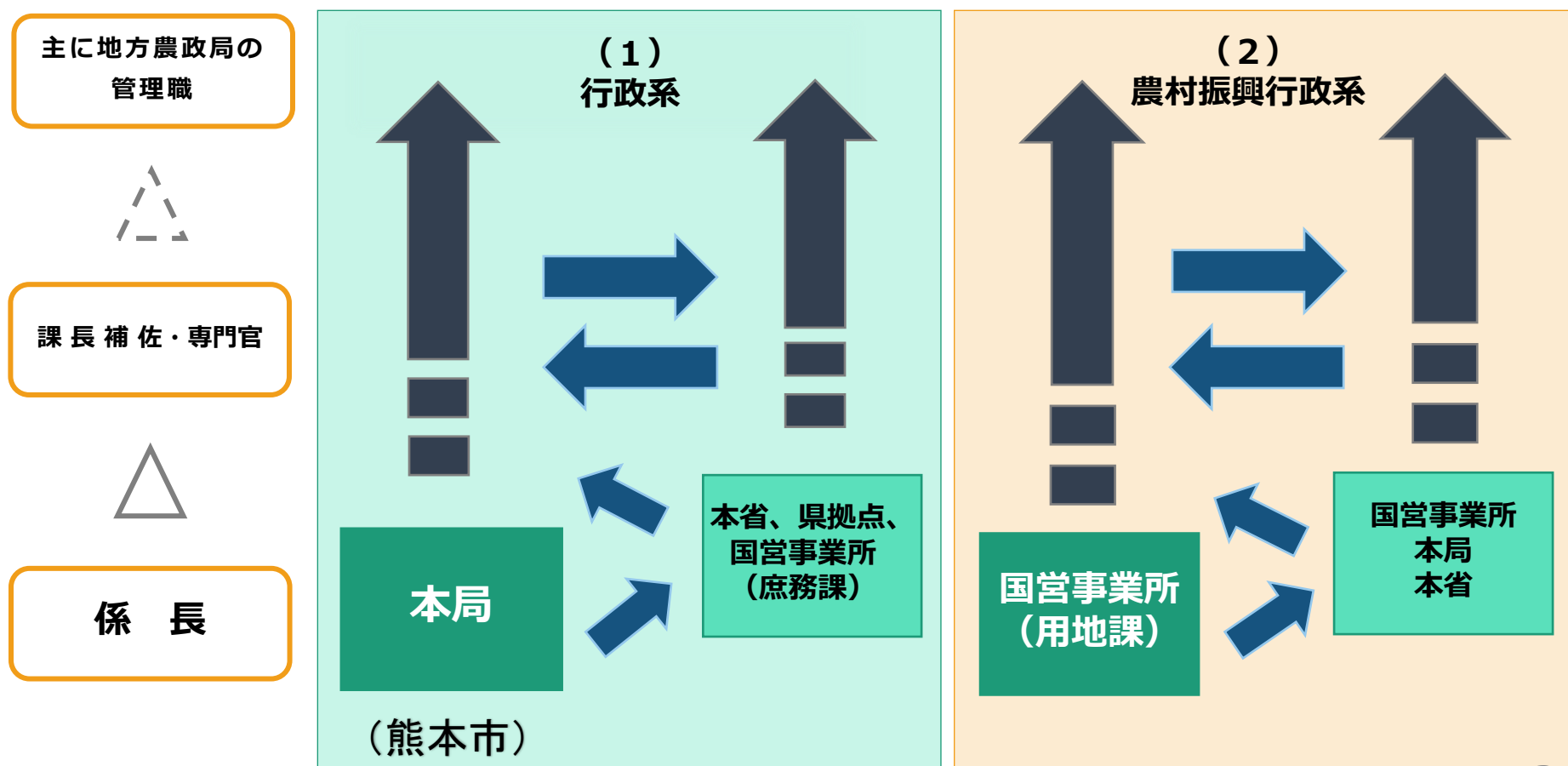


分析発表会の様子



入省後のキャリアパス

- ▼ 採用後は、おおむね **2～3年毎**に1度は異動することとなります。
 - (1) **行政系**_様々なポストを経験しながら、**自分にあった分野のスペシャリスト**になってもらいます。
 - (2) **農村振興行政系**_農業インフラの整備に係る**用地・補償業務のスペシャリスト**になってもらいます。
- ▼ キャリアプランの中で、農林水産本省での業務も経験可能です。



業務内容

行政系

●業務内容●

- ・みどりの食料システム戦略の推進
- ・各種施策に関する企画
- ・消費者行政、食育の推進
- ・内部管理（人事、会計等）
- ・担い手確保対策
- ・農林水産物食品の輸出促進
- ・食料安全保障の強化
- ・バイオマス・再生可能エネルギー利活用促進等の事務
- ・農地政策の推進、新規就農対策、経営所得安定対策の事務



●主な勤務先●

- ・九州農政局本局
- ・同局管内の各県拠点、国営事業所
- ・本省（東京霞ヶ関）

農村振興行政系

●業務内容●

- ・国営土地改良事業等に係る用地補償、施設の管理等の事務及び国営事業等に係る補助金・予算管理等の会計事務

○用地補償業務

土地改良施設を作るために必要な土地の買収、移転、借地等の事務

○管理業務

完成された土地改良施設を維持・管理するための事務



●主な勤務先●

- ・九州農政局管内の国営事業所
- ・九州農政局本局
- ・本省（東京霞ヶ関）

BUZZ MAFF (ばずまふ)

農林水産省職員自らが、YouTuberとなり担当業務にとらわれず、スキルや個性を活かして、農林水産省や日本の農林水産業の魅力を発信するプロジェクトです。



【よかとコ九州】農林水産省あるある動画～事業所編～



～農林水産省あるある～ 3分 196万 再生数・4年前



農水省から皆様へのお知らせ 1分11秒 111万 再生数・5年前



【よかとコ九州】+デグバジャー+田舎編【プロとガチ対決】 1分11秒 31万 再生数・13日前



農水省職員は何か国語話せるの？ 1分11秒 29万 再生数・5年前

詳しくはQRコードから！

「BUZZMAFF」でも検索してみてください！



農林水産省 BUZZMAFF

検索

職員の働き方

○ 職員1人当たりの超過勤務時間 (1月あたり)

常勤職員 (本省)	22.0時間
常勤職員 (九州農政局)	12.6時間

※職員一人当たりの一月当たりの超過勤務時間（令和6年）
（農林水産省HP）

※九州農政局の超過勤務時間（令和7年度（九州農政局調べ））

○ 多様な働き方

- ・ **フレックスタイム**制度、**早出遅出出勤**
- ・ **テレワーク**も実施
- ・ R7年の**平均年休取得日数**は**14.8日**
（九州農政局）

○ 仕事と家庭の両立

- ・ 育児休業取得率（R6年度） 男性…86.9%
女性…100%

出典：国家公務員の育児休業等の取得状況のフォローアップ

○ メンター制度

- ・ 採用1.2年目の職員に対して、月に1回以上、20分程度、先輩職員がこれまでの経験等に基づき、助言等を行うものです。

○ パルスサーベイ

- ・ 若手職員を対象に、2か月に1回実施する、体調や業務についての調査で、自身の状況を人事担当へ伝えるものです。



先輩職員へインタビュー①

★令和6年度に選考採用（一般職係長級（事務系））で採用された先輩職員に話を聞きました！

※インタビューは、令和7年度に実施しました。

経営・事業支援部輸出促進課
Tさん（前職 公立学校事務）



Q1.仕事面やプライベート面で入省して良かったと思ったことは？

前職に比べるとより広域的な行政職であり、多種多様な業務があって仕事が単調にならないところが刺激的です。

Q2.業務でのやりがいは？

九州管内の輸出実績作成業務については公表資料も含め様々な資料のベースになり、輸出に関する会議等色々な場面で参考にされることもあるため、やりがいを感じます。

経営・事業支援部農地政策推進課
Mさん（前職 農業協同組合）



Q1.九州農政局への転職を決めたきっかけは？

前職である農業に携わる仕事をし、農家の為になるような想いで働いていた中で、たまたま、マイナビ転職合同説明会の開催案内をテレビで見たことをきっかけに農林水産省で働きたいと考えるようになりました。

Q2.職場や上司、同僚の雰囲気はどうですか？

入省した始めの頃は、分からないことだらけでしたが、上司や同僚に相談しやすい環境だったため、非常に助かりました。今でも、分からないことなどの相談事があれば、すぐに相談します。

消費・安全部畜水産安全管理課
Kさん（前職 金融業）



Q1.職場や上司、同僚の雰囲気はどうですか？

明るく個性豊かな方々がいらっしゃり、とても和やかな雰囲気です。

Q2.仕事面やプライベート面で入省して良かったと思ったことは？

月1年休取得推奨、テレワークや育児休暇制度など福利厚生がとても充実し、柔軟な働き方ができる点です。

先輩職員へインタビュー②

農村振興部農村計画課

Aさん（前職 専門学校講師）



Q1.九州農政局への転職を決めたきっかけは？

偶然農政局の求人を見つけました。調べてみると、新卒以外でも公務員になれることを知り、公務員の安定した働き方や福利厚生に魅力を感じました。もともと農業に興味があり、食や地域を支える仕事に関わりたと思っていたので、「ここでなら自分の力を活かして社会に貢献できるかもしれない」と感じ、農林水産省で働くことを考えるようになりました。

Q2.応募を検討している人へのメッセージを一言お願いします！

農業に関係のない経歴でも心配はいりません。九州農政局には温かく協力的な方が多く、どんな経験も必ず活かせる場があります。迷っているなら、まずは一歩踏み出してみてください。

生産部環境・技術課

Hさん（前職 金融業）



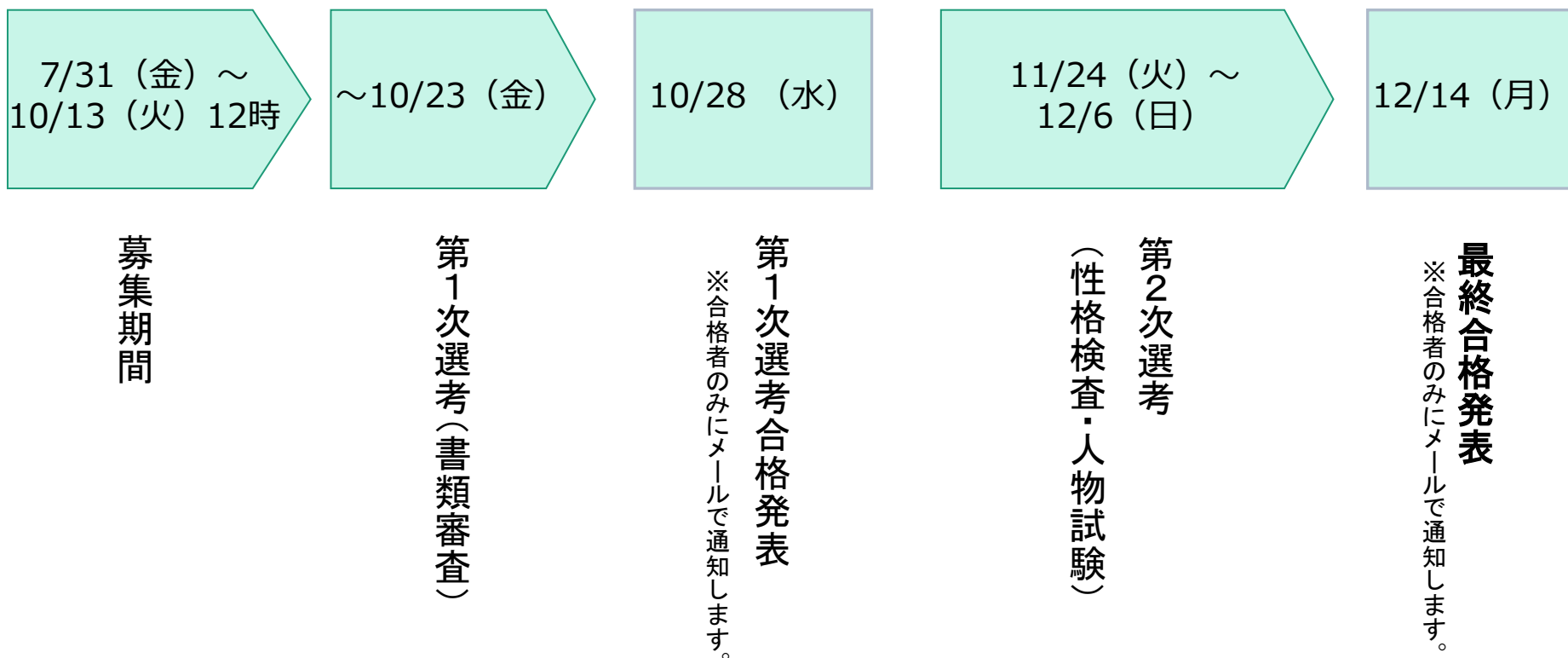
Q1.業務でのやりがいは？

私は有機農業推進担当係長という立場で、補助金事業を軸に有機農業の推進をしています。補助事業を活用することで産地が活性化したり機運が高まっているのを感じたときはやりがいを感じます。また、有機農業振興の一助として、有機農業推進ネットワーク集会（イベント）の企画立案から開催までを行いました。イベントについては終わっての充実感もあり、非常にやりがいを感じることができました。

Q2.応募を検討している人へのメッセージを一言お願いします！

「食べる」ということは我々の生命維持に必要なことです。特に子どもたちの健全な成長にはなくてはならないものです。そんな食を支える農林水産業に興味がある方、是非、一緒に働きましょう。

採用スケジュール



(参考) 近年の採用状況

R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
7名	11名	12名	6名

農林水産省の魅力

大きな転換期にある社会課題（食・農林水産業）に
幅広いフィールドで確かな貢献ができる。

転換期にある 農林水産業

- ・ 今、農林水産業は課題が山積している
- ・ ここから10年、20年で農林水産業は大きく変わる
- ・ いつの時代になっても、食と環境を守る仕事は決してなくなる

確かな貢献

- ・ 産業（農林水産業、食品産業）を所管するからこそ、具体的な貢献ができる
- ・ 食という身近なものに関われる
- ・ ピンチの今だからこそ、若手がチャレンジして変革を起こせる

幅広いフィールド

- ・ 1次産業を中心とした多様なフィールド
- ・ 実際に世の中を動かせる豊富なツール
- ・ ローカルからグローバルまで幅広い活躍の場がある